

第2期武豊町国民健康保険データヘルス計画【概要版】

計画期間 平成31(2019)年度～平成35(2023)年度

○計画の趣旨・目的

- ・この計画は、特定健康診査の結果や診療報酬明細書等の健康・医療情報を分析することにより、健康課題を明確にし、地域の特性に合わせたPDCAサイクルにより、効果的かつ効率的な保健事業を行うことで、**被保険者の健康寿命の延伸、糖尿病等の生活習慣病の発症予防及び重症化予防を推進**するものです
- ・武豊町はこれまで、第1期計画(2016-2018)に基づき、健康課題の解決に向けた保健事業を進めてきました
第2期計画においても、さらなる健康の保持増進と将来の医療費の削減を目指した保健事業を進めます

○第1期計画の取組状況と評価 ～めざせ！脱！！太っ腹な武豊～

第1期策定時の健康課題	<ul style="list-style-type: none">・腹囲基準値超が県内ワースト1・メタボ率が県内上位・血圧・血糖・脂質の有所見者が多い・受診勧奨値者の医療機関非受診率が高い・生活習慣病1人当たりの医療費が高い・心臓病、脳血管疾患、糖尿病の医療費が高い・高額医療費の件数や金額が増加し、重症化の傾向・要介護者の有病状況では、心臓病、脳血管疾患が多い
重点目標 重点対策	<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none">・腹囲基準値超県内ワースト1脱却・健診受診率の向上・町民の健康意識(特に腹囲に対する意識)の向上・富貴小学校区健康データの改善 <p>【重点対策】</p> <ul style="list-style-type: none">・太っ腹・メタボ対策・循環器疾患・高血圧対策・重症化予防対策
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none">・健診未受診勧奨・幸せの黄色いリボン事業・特定保健指導「元気！からだの学校」・小学校区別健康教育・高血圧重症化予防教室・重症化予防・適正受診に特化した成人の訪問指導
重点目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none">・健診受診率は向上した・各関係機関と連携・協働して生活習慣病予防に関する啓発、教育を行い、国保被保険者に限定しない町全体へのポピュレーションアプローチが実施できた・腹囲基準値超、メタボ該当者はまだ県内上位
継続する課題	<ul style="list-style-type: none">・腹囲・メタボ対策・高血圧対策・生活習慣病重症化予防対策 <p style="text-align: right;">*裏面「健康課題の抽出」参照</p>

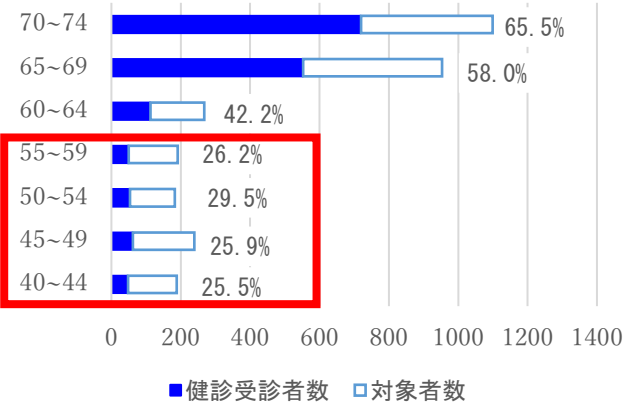
○健康課題の抽出（健康情報の階層化）

【帳票15】患者千人あたり生活習慣病新規患者数（多い順）（H29度）

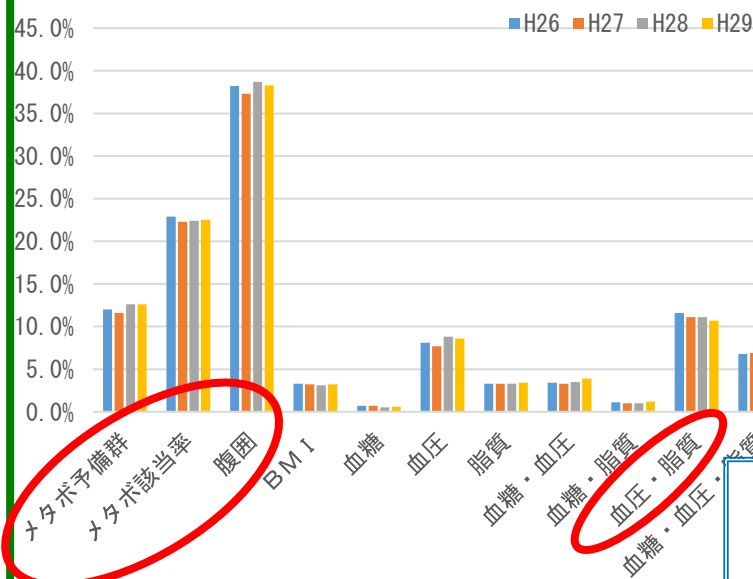
1	筋・骨格
2	がん
3	糖尿病
4	高血圧症
5	精神
6	脂質異常症
7	脳梗塞
8	動脈硬化症
9	狭心症
10	高尿酸血症

* 県の1.2倍
* 県の1.2倍

【帳票2】被保険者構成と特定健診受診率（男性）（H29度）



【帳票2】健診結果有所見率の推移



結果
健康寿命の延伸を阻んでいる特徴的な疾患

特徴的な疾患を引き起こす危険因子（リスク）

要因
リスクにつながる生活習慣

心疾患（特に男性）
県の約1.5倍

男性のがん（特に呼吸器系）

死因

要介護認定者の有病状況（心疾患・脳血管疾患が多い）

がん（入院医療費高額）

重症

生活習慣病治療中でも、検査数値の高い人が多い（コントロール不良）

軽症

筋・骨格系疾患
脳血管疾患（出血、梗塞）
動脈硬化

糖尿病
糖尿病性腎症
高血圧症
歯周病
心疾患

受診勧奨値者で医療機関未受診、未治療が多い

特定保健指導率低い

40~50代の健診受診率が低い（特に男性）

がん検診受診率が低い

リスク

メタボ該当・予備群 県内上位
腹囲基準値超 県内上位
→内臓脂肪貯留

健診での有所見率高い（血圧・脂質異常）

小中学生の半数以上が受動喫煙

喫煙、多量飲酒（習慣がある人が多量摂取）

正しい知識の不足？
偏った知識？

体重増加による関節痛？
20歳時より体重10kg増している人が多い

男性 44.8%
女性 30.8%

公共交通機関が少ない
車移動が多い？

栄養過多？塩分過多？
生活習慣改善意欲低い

「改善意欲なし」
男性 60.9%
女性 53.7%

運動習慣少ない

三交代勤務による不規則な生活リズム？

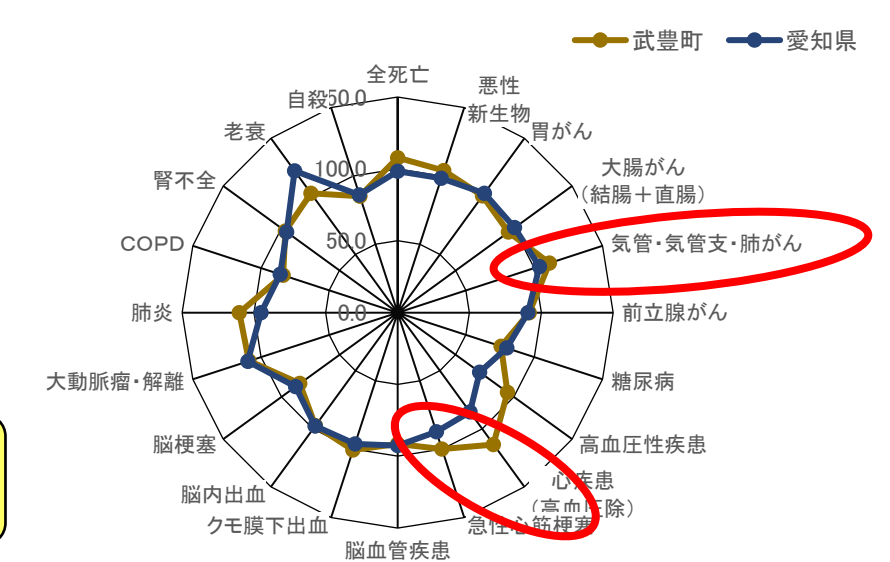
生活習慣改善意欲低い

小中学校の児童生徒の約1割が肥満

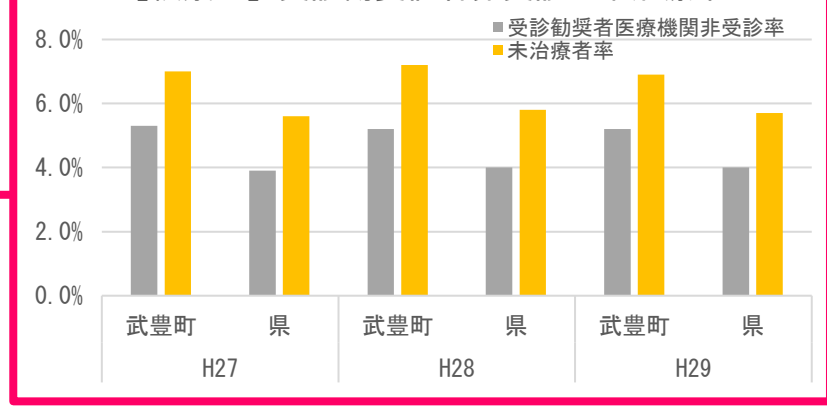
睡眠不足？
幼少期からの家庭環境

朝食抜きの若年層家庭が多い（3歳児、保育園、小学校）

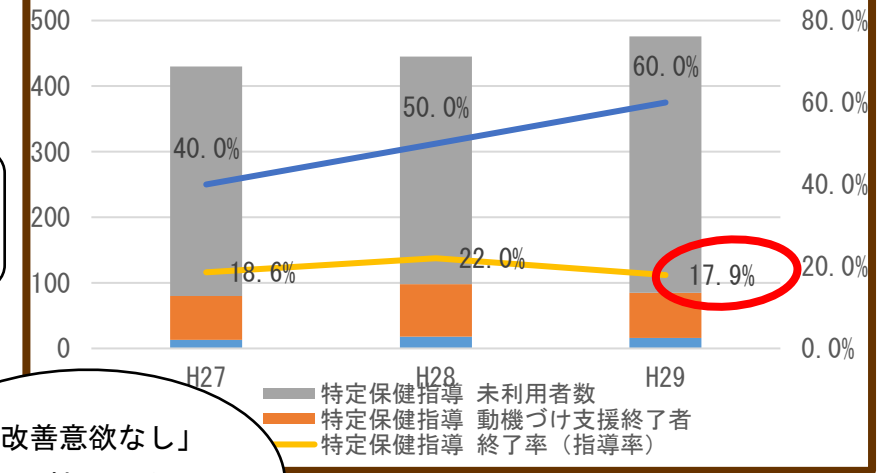
【帳票19】主な疾病別標準化死亡比（H23~27）・男性



【帳票1】受診勧奨値者非受診・未治療率



【帳票5】特定保健指導実施率の推移



【取り組むべき重点課題】

- ・ハイリスク者が適切な医療につながる
- ・生活習慣病が重症化しない（特に高血圧）
- ・多くの不健康リスクの根源である内臓脂肪（メタボ）が減る
- ・若年層から「良い」生活習慣を積み重ねる

○第2期の重点目標と事業計画

【目指す姿（長期的アウトカム）】

- ・心疾患による死亡数が減少する
- ・がん、循環器疾患にかかる医療費が抑制できる
- ・生活習慣病（特に高血圧症）の新たな発生が抑制できる
- ・すべての住民が、メタボや生活習慣病についての正しい知識を得ることができ、健康課題に対して最良の自己決定ができる



【重点目標】

- ① 適正受診者の増加
- ② 特定保健指導対象者の減少
- ③ 40～50代の健診受診率の向上
- ④ 生活習慣改善意欲の向上

【重点対策】

- I 生活習慣病重症化予防・適正受診勧奨対策（高血圧、脂質異常、がん）
- II メタボ対策（特定保健指導）
- III 40～50代の健診受診勧奨
- IV 幅広い世代・対象に向けたポピュレーションアプローチ

【実施事業】

1. (1) 受診勧奨値者への適正医療受診勧奨
…検査値と現在の身体状況の正しい理解と、適正受診の促進
2. (2) 特定保健指導
…生活習慣病の新たな発生の予防
3. (3) 生活習慣病予防普及啓発
…生活習慣病についての正しい知識の取得
4. (4) 「幸せの黄色いリボン」事業
…腹囲・内臓脂肪と生活習慣病の因果関係の理解
5. (5) 若年層の健診受診勧奨事業
…特定健診40～50代の受診率の向上
6. (6) ジェネリック医薬品利用促進事業
…ジェネリック医薬品の利用率の向上による医療費の適正化

【評価指標】

- ・適正受診者の増加
- ・特定保健指導対象者の減少
- ・40～50代の健診受診率の向上
- ・生活習慣改善意欲の向上